

● **学校法人 d b VERSION:7.301**

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 消費税区分の改良について

- 会社登録で科目消費税区分を「登録しない」に変更しても、登録した内容の変更ができなくなるだけで、登録しているものは仕訳入力などで反映する状態となっていました。
- 摘要・枝番・部門消費税区分は、会社登録で消費税区分を「登録しない」に変更すると、登録した内容が変更できないだけでなく、仕訳入力などで反映されませんでした。
- 上記のことから、科目・摘要、枝番・部門のそれぞれで文言及び動作の統一・変更を行いました。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**学校法人 d b (VERSION:7.301) の変更点**”を参照してください。

📌 **注意**

- 他のICSシステムとマスターのやり取りが行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

# 学校法人 d b (VERSION:7.301) の変更点

## 消費税区分の改良について

### 概要

- ・会社登録で科目消費税区分を「登録しない」に変更しても、登録した内容の変更ができなくなるだけで、登録しているものは仕訳入力などで反映する状態となっていました。
- ・摘要・枝番・部門消費税区分は、会社登録で消費税区分を「登録しない」に変更すると、登録した内容が変更できないだけでなく、仕訳入力などで反映されませんでした。
- ・上記のことから、科目・摘要、枝番・部門のそれぞれで文言及び動作の統一・変更を行いました。  
※詳細な対応内容は下記に各業務ごとに記載しております。

## 改良

### I. 登録・入力

#### 1) 仕訳入力

- ①伝票入力で証憑番号の入力ができるように改良しました。  
振替伝票・入金伝票・出金伝票の全ての伝票で入力が可能となっています。  
また、元帳検索の伝票形式での修正画面も同様の対応を行っています。  
※会社登録で「証憑番号の使用：使用する」に設定している場合に、証憑欄が表示されます。

01 月 01 日	証憑 <input type="text"/>	部門
借 方	摘 要 手形番号 手形期日	変事 付箋
		貸

#### 2) 新規会社登録・修正・削除

- ①下記(1)~(3)の対応を行いました。
  - (1)「消費税区分」から「消費税区分集計」に名称を変更しました。
  - (2)消費税区分集計から「科目」「摘要」の項目を削除しました。  
「科目」「摘要」の項目は、科目設定・残高登録から選択できます。
  - (3)消費税区分集計の「枝番」「部門」の項目において、コンボボックスの文言を「登録する／登録しない」から、「行う／行わない」に変更しました。  
※動作に変更はありません。

課税方式		原則課税	
経理方式		税込み処理	
税入力方式	売 上	内税方式	
	資 産	内税方式	
	経 費	内税方式	
	仕 入	内税方式	
仕入税額 按分法		個別対応	仕入区分設定
端数処理	売 上	切捨て	平成27年4月1日以後に開始する課税期間から簡易課税制度のみなし仕入率の変更が行われ、金融業及び保険業が第5種事業に、不動産業が第6種事業に変更されました。簡易課税の事業区分の選択には十分注意してください。
	仕 入	切捨て	
消費税区分集計	枝 番	行 う	
	部 門	行わない	
仮受・仮払消費税/枝番		振り付けない	
固定資産売却益/枝番		振り付けない	
元帳表記		通常表記	
課税方式別の税額比較処理		行わない	

②消費税情報タブ「課税方式」を変更しても“修正書込み”を行う前に、変更前の課税方式に戻せば、下記設定の内容を復元するように変更しました。

- ・「原則課税」→「簡易課税」→「原則課税」と変更した時の『仕入税額 按分法』
- ・「簡易課税」→「原則課税」→「簡易課税」と変更した時の『事業区分設定』
- ・「原則課税」→「免税」→「原則課税」と変更した時の『経理方式』『税入力方式』『仕入税額 按分法』
- ・「簡易課税」→「免税」→「簡易課税」と変更した時の『経理方式』『事業区分設定』『税入力方式』

③経理処理情報タブの「枝番入力」「部門入力」の設定を“行わない”から“行う”に変更した場合、仕訳入力の[F4 入力設定]において、下記の設定をチェック ON に変更するように改良しました。

- 「枝番」を“行う”に変更した場合
  - ・「枝番未入力チェック」が ON になります。
  - ・「枝番名称を表示」が ON になります。
  - ・「枝番のコピー」が ON になります。
- 「部門」を“行う”に変更した場合
  - ・「部門番号チェック」が ON になります。

<b>部門</b> <input checked="" type="checkbox"/> 部門番号チェック <input type="checkbox"/> 部門名称を表示 <input type="checkbox"/> 部門名称を仕訳摘要にセット <input type="checkbox"/> 工事名称を仕訳摘要にセット 部門選択の優先順 <input type="radio"/> 画面番号 <input checked="" type="radio"/> 部門番号 <input type="checkbox"/> 部門未入力チェック <input type="checkbox"/> 完成工事チェック <input type="checkbox"/> 工事番号科目チェック	<b>枝番</b> <input checked="" type="checkbox"/> 枝番未入力チェック <input checked="" type="checkbox"/> 枝番名称を表示 <input checked="" type="checkbox"/> 枝番のコピー <input type="checkbox"/> 枝番摘要を仕訳摘要にセット <input checked="" type="checkbox"/> 資金繰諸口枝番名称を表示 <input type="checkbox"/> 枝番選択を50音順で表示 摘要枝番 <input type="checkbox"/> 部門摘要枝番を使用する 科目選択画面
---	--

- ④消費税情報タブ「経理方式」を“税抜き処理”に設定した場合、「税入力方式」の初期値を“内税入力”となるように変更しました。

課税方式	簡易課税	事業区分設定
経理方式	税抜き処理	経理処理設定
税入力方式	売上	内税方式
	資産	内税方式
	経費	内税方式
	仕入	内税方式
仕入税額 按分法		
端数処理	売上	切捨て
	仕入	切捨て
消費税区分集計	枝番	行う
	部門	
仮受・仮払消費税/枝番	振り付けない	
固定資産売却益/枝番	振り付けない	
元帳表記	通常表記	
課税方式別の税額比較処理	行わない	

平成27年4月1日以後に開始する課税期間から簡易課税制度のみなし仕入率の変更が行われ、金融業及び保険業が第5種事業に、不動産業が第6種事業に変更されました。簡易課税の事業区分の選択には十分注意してください。

### 3) 科目設定・残高登録

- ①下記(1)~(4)の対応を行いました。

(1)科目・枝番・摘要消費税区分登録のチェックボックスの文言を下記のように変更しました。

「科目消費税区分を登録する」 → 「科目消費税区分を設定する」

「枝番消費税区分を登録する」 → 「枝番消費税区分を設定する」

「摘要への消費税区分を登録する」 → 「摘要消費税区分を設定する」

「摘要に自動仕訳の科目を登録する」 → 「摘要に自動仕訳の科目を設定する」

「銀行 CSV 摘要を登録する」 → 「銀行 CSV 摘要を設定する」

○「科目設定・変更」画面

科目設定	残高登録	分析登録	摘要
科目名称変更   科目設定・変更   科目順変更   出力用特殊名称			
<input checked="" type="checkbox"/> 科目消費税区分を設定する		<input type="checkbox"/> 入力区分一括	
番号	属性	科目名称	カナ
1		諸	シヨク

○「枝番残高登録」画面

科目設定	残高登録	分析登録	摘要登録
科目残高登録   枝番残高登録			
当期	開		
仕入高	1 (0550)	<input checked="" type="checkbox"/> 枝番消費税区分を設定する	
枝番	摘要	枝番名称	カナ
0001	1	1月分	イカ

○「摘要辞書登録」画面

科目設定	残高登録	分析登録	摘要登録
摘要辞書登録   科目対応摘要登録   仕訳対応摘要登録			
現在登録数 : 298			
<input checked="" type="checkbox"/> 摘要消費税区分を設定する		<input checked="" type="checkbox"/> 摘要に自動仕訳の科目を設定する	<input checked="" type="checkbox"/> 銀行CSV摘要を設定する
番号	摘要名称	カナ	銀行CSV摘要
1	1月分	イカ	消費税

(2) 「枝番消費税区分を設定する」の動作を下記のように変更しました。

- ・会社登録の消費税区分設定との連動を行わないようにしました。  
 ※連動は行いませんが、会社登録の消費税区分設定「枝番：行わない」を選択している場合、「枝番消費税区分を設定する」のチェックボックスは変更できないように制御しています。  
 また、「枝番：行わない」の場合、消費税区分の列は表示されません。

科目設定	残高登録	分析登録	摘要登録
科目残高登録 枝番残高登録			
当期		開	
仕入高 1 (0550)		<input checked="" type="checkbox"/> 枝番消費税区分を設定する	
枝番	摘要	枝番名称	カナ
0001	1	1月分	イカ
0002	2	2月分	ニカ

- ・会社登録の消費税区分設定「枝番：行う」の場合は、「枝番消費税区分を設定する」のチェックのON/OFFに関係なく、設定している消費税区分が仕訳入力等に反映するように変更しました。

- ・「枝番消費税区分を設定する：チェック ON」の場合、消費税区分の設定ができます。

当期		開				
仕入高 1 (0550)		<input checked="" type="checkbox"/> 枝番消費税区分を設定する				
枝番	摘要	枝番名称	カナ	課税区分	仕入区分	税率
0001	1	1月分	イカ	課税	基本設定	10%
0002	2	2月分	ニカ	課税	基本設定	10%
0003	3	3月分	サカ	課税	基本設定	10%

- ・「枝番消費税区分を設定する：チェック OFF」の場合でも、消費税区分の列を表示するように変更しました

※消費税区分欄の確認は行えますが、変更はできないように制御をしています。

当期		開				
仕入高 1 (0550)		<input type="checkbox"/> 枝番消費税区分を設定する				
枝番	摘要	枝番名称	カナ	課税区分	仕入区分	税率
0001	1	1月分	イカ	課税	基本設定	10%
0002	2	2月分	ニカ	課税	基本設定	10%
0003	3	3月分	サカ	課税	基本設定	10%

(3) 「摘要消費税区分を設定する」の動作を下記のように変更しました。

- ・「摘要消費税区分を設定する」のチェックのON/OFFに関係なく、設定している消費税区分が仕訳入力等に反映するように変更しました。

- ・「摘要消費税区分を設定する：チェック ON」の場合、消費税区分の設定ができます。

現在登録数： 298			
<input checked="" type="checkbox"/> 摘要消費税区分を設定する		<input type="checkbox"/> 摘要に自動仕訳の科目を設定する	
			<input type="checkbox"/> 銀行CSV
番号	摘要名称	カナ	消費税
1	1月分	イカ	課税
2	2月分	ニカ	非課税
3	3月分	サカ	不課税
4	4月分	シカ	経過 - 8%
5	5月分	コカ	軽減 - 8%
6	6月分	ロカ	標準 - 10%

- ・「摘要消費税区分を設定する：チェック OFF」の場合でも、消費税区分の列を表示するように変更しました。

※消費税区分欄の確認は行えますが、変更はできないように制御をしています。

現在登録数： 298

摘要消費税区分を設定する  摘要に自動仕訳の科目を設定する  銀行CSV掛

番号	摘要名称	カナ	消費税
1	1月分	イカ	課税
2	2月分	ニカツ	非課税
3	3月分	サカ	不課税
4	4月分	シカツ	経過 - 8%
5	5月分	コカ	軽減 - 8%
6	6月分	ロカ	標準 - 10%

- (4)「摘要に自動仕訳の科目を設定する：チェック OFF」の場合でも、自動仕訳の科目の列を表示するように変更しました。

※チェック ON の場合は、従来通りの動作となります。

摘要に自動仕訳の科目を設定する  銀行CSV摘要を登録する

名称	カナ	消費税	借方科目	貸方科目
	イカ		仕入高 1	
	ニカツ		仕入高 1	
	サカ		仕入高 1	
	シカツ			売上高 1
	コカ			売上高 1
	ロカ			売上高 1

- ②科目設定の科目名称変更タブ・収支科目名称タブで、[F6 ICS 標準] を明細科目でも使用できるように改良しました。

[F6 ICS 標準] を押すことで、科目名称・試算表名称・決算書名称を ICS の標準の名称に戻すことができます。

※小分類科目追加・明細科目追加によって追加された科目は使用できません。

- ③科目設定の科目設定・変更タブで、科目属性を「輸出免税売上」に設定している場合、課税区分を変更できないようにしました。

番号	属性	科目名称	カナ	コード	摘要	課税区分
179		新株予約権	シカ7ヨ	0440		---
180	輸免	売上高 1	ウリアタ	0511	4	課税
181	売上	売上高 2	ウリアタ	0512	4	課税売上高 ... X
182	売上	売上高 3	ウリアタ	0513	4	課税
183	売上	売上高 4	ウリアタ	0514	4	---
184	売上	売上高 5	ウリアタ	0515	4	---
185	売上	売上高 6	ウリアタ	0516	4	---
186	売上	売上高 7	ウリアタ	0517	4	---
187	売上	売上高 8	ウリアタ	0518	4	---
188	売上	売上高 9	ウリアタ	0519	4	---
189	売上	他売上高引	ウリアタ	0520	4	---
190	売返	売上戻	ウリアネ	0521	4	---
191	売返	売上戻	ウリアモ	0522	4	---

## 4) 部門設定

- ①下記(1)~(4)の対応を行いました。

- (1)「部門消費税区分を登録する」のチェックボックスの文言を「部門消費税区分を設定する」に変更しました。

部門消費税区分を設定する

コード	部門名称	仕入区分
1	1	課税売上に係る
2	2	非課税売上に係る
3	3	共通に係る

(2)会社登録の消費税区分集計との連動を行わないようにしました。

※連動は行いませんが、会社登録の消費税区分集計「部門：行わない」を選択している場合、「消費税設定」のボタンを押さないように制御しています。

消費税設定		詳細設定	集計部門設定
部門	部門名称		
1	1		
2	2		

(3)会社登録の消費税区分集計「部門：行う」の場合は、「部門消費税区分を設定する」のチェックのON/OFFに関係なく、設定している消費税区分が仕訳入力等に反映するように変更しました。

(4)「部門消費税区分を設定する：チェックOFF」の場合でも、消費税区分の列を表示するように変更しました。

※消費税区分欄の確認は行えますが、変更はできないように制御をしています。

部門消費税区分を設定する

コード	部門名称	仕入区分
1	1	課税売上に係る
2	2	非課税売上に係る
3	3	共通に係る

## II. 決算

### 1) 勘定科目内訳書

①電子申告の上限文字数を超えた項目タイトルに電子申告の上限文字数を表示し、タイトルとデータの文字色を変更するように対応しました。

●電子申告の文字数を超えるデータが入力された場合

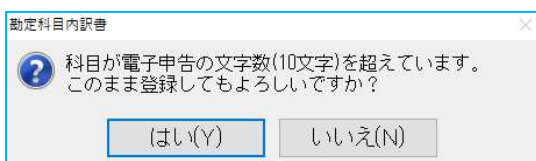
- ・項目タイトルに電子申告の上限文字数を括弧付きで表示します。
- ・項目タイトルと入力されたデータの文字色は、青色で表示されます。
- ・画面下部に「項目名の数値は電子申告で変換される文字数です。電子申告時に、青字の項目では文字数を超える部分はカットされます。」の文言を表示します。

例：①預貯金等の内訳書・・・種類、摘要で電子申告の上限文字数を超えた場合

前頁	1 / 1	次頁	改頁	頁挿入	行コピー	行貼付	行挿入貼付	保管 0件
預貯金等の内訳書								①
金融機関名	支店名	種類(10)	口座番号	期末現在高	摘要(30)			
あいうえお銀行	大阪支店	あいうえおかきくけこさし	1234567	10,000,000	あいうえおかきくけこさしすせそたちつと なにぬねのはひふへほ			
かきくけこ銀行	東京支店	当座預金	7654321	10,000,000	あいうえおかきくけこさしすせそたちつと なにぬねのはひふへほ			

● [F9 参照] ダイアログ

- ・ [F6 編集] [F8 挿入] [F9 追加] の処理で、名称が電子申告の文字数を超えている時は、OK ボタン押下時に下記の確認メッセージを表示します。



括弧の中には電子申告の上限文字数を表示します。



- 電子申告では半角文字も全角文字に変換して処理されるため、内訳書データの全角半角を問わずに文字数により電子申告の上限文字数の判定を行います。
- 上限文字数を超える可能性がある箇所は以下の通りです。
  - ①預貯金等の内訳書
    - ・金融機関名 (電子申告上限文字数 11 文字)
    - ・支店名 (電子申告上限文字数 11 文字)
    - ・種類 (電子申告上限文字数 10 文字)
    - ・摘要 (電子申告上限文字数 30 文字)
  - ②受取手形の内訳書
    - ・支払銀行名称 (電子申告上限文字数 11 文字)
    - ・支払銀行支店名 (電子申告上限文字数 11 文字)
    - ・割引銀行名及び支店名等 (電子申告上限文字数 22 文字)
    - ・摘要 (電子申告上限文字数 50 文字)
  - ③売掛金（未収入金）の内訳書
    - ・科目 (電子申告上限文字数 10 文字)
    - ・摘要 (電子申告上限文字数 50 文字)
  - ④-1 仮払金（前渡金）の内訳書
    - ・科目 (電子申告上限文字数 10 文字)
    - ・法人・代表者との関係 (電子申告上限文字数 10 文字)
  - ④-2 貸付金及び受取利息の内訳書
    - ・法人・代表者との関係 (電子申告上限文字数 10 文字)
    - ・担保の内容（物件の種類、数量、所在地等） (電子申告上限文字数 40 文字)
  - ⑤棚卸資産（商品又は製品、半製品、仕掛品、原材料、貯蔵品）の内訳書
    - ・科目 (電子申告上限文字数 10 文字)
    - ・品目 (電子申告上限文字数 20 文字)
    - ・摘要 (電子申告上限文字数 30 文字)
  - ⑥有価証券の内訳書
    - ・区分 (電子申告上限文字数 10 文字)
    - ・種類 (電子申告上限文字数 10 文字)
    - ・銘柄 (電子申告上限文字数 10 文字)
    - ・（期末現在高） 数量 (電子申告上限文字数 11 桁 小数点以下 2 桁)
    - ・（期中増の明細） 異動事由 (電子申告上限文字数 10 文字)
    - ・（期中増の明細） 数量 (電子申告上限文字数 11 桁 小数点以下 2 桁)
    - ・摘要 (電子申告上限文字数 50 文字)
  - ⑦固定資産（土地、土地の上に存する権利及び建物に限る。）の内訳書
    - ・種類・構造 (電子申告上限文字数 10 文字)
    - ・用途 (電子申告上限文字数 10 文字)
    - ・異動事由 (電子申告上限文字数 10 文字)
  - ⑧支払手形の内訳書
    - ・支払銀行名称 (電子申告上限文字数 11 文字)
    - ・支払銀行支店名 (電子申告上限文字数 11 文字)
    - ・摘要 (電子申告上限文字数 50 文字)



- ⑨買掛金（未払金・未払費用）の内訳書  
 ・科目 (電子申告上限文字数 10 文字)
- ⑩-1 仮受金（前受金・預り金）の内訳書  
 ・科目 (電子申告上限文字数 10 文字)  
 ・法人・代表者との関係 (電子申告上限文字数 10 文字)
- ⑪借入金及び支払利子の内訳書  
 ・法人・代表者との関係 (電子申告上限文字数 10 文字)  
 ・担保の内容（物件の種類、数量、所在地等） (電子申告上限文字数 20 文字)
- ⑫土地の売上高等の内訳書  
 ・地目 (電子申告上限文字数 10 文字)
- ⑬売上高等の事業所別内訳書  
 ・代表者との関係 (電子申告上限文字数 10 文字)  
 ・源泉所得税納付署 (電子申告上限文字数 15 文字)  
 ・摘要 (電子申告上限文字数 30 文字)
- ⑭-1 役員給与等の内訳書  
 ・担当業務 (電子申告上限文字数 10 文字)
- ⑮-1 地代家賃等の内訳書  
 ・地代・家賃の区分 (電子申告上限文字数 10 文字)  
 ・借地（借家）物件の用途 (電子申告上限文字数 10 文字)  
 ・摘要 (電子申告上限文字数 40 文字)
- ⑮-2 権利金等の期中支払の内訳書  
 ・権利金等の内容 (電子申告上限文字数 30 文字)  
 ・摘要 (電子申告上限文字数 40 文字)
- ⑮-3 工業所有権等の使用料の内訳書  
 ・名称 (電子申告上限文字数 10 文字)  
 ・摘要 (電子申告上限文字数 40 文字)
- ⑯-1 雑益、雑損失等の内訳書  
 ・科目 (電子申告上限文字数 10 文字)  
 ・取引の内容 (電子申告上限文字数 30 文字)
- ⑯-2 雑損失等の内訳書  
 ・科目 (電子申告上限文字数 10 文字)  
 ・取引の内容 (電子申告上限文字数 30 文字)

②以下の様式の金額及び面積の桁数を拡張しました。

- ・①預貯金等の内訳書で、期末現在高の桁数を「13桁」（計行も13桁）にしました。
- ・⑦固定資産の内訳書で、面積を「整数8桁+小数2桁」にしました
- ・他の様式の種類・面積の欄についても、画面・印刷で可能なものの桁数を増やしました。

●桁数を変更した箇所は以下の通りです。

①預貯金等の内訳書

・期末現在高 明細 11桁 合計 12桁 → 明細 13桁 合計 13桁

②受取手形の内訳書

・金額 明細 11桁 合計 12桁 → 明細 13桁 合計 13桁

③売掛金（未収入金）の内訳書

・期末現在高 明細 11桁 合計 12桁 → 明細 13桁 合計 13桁

④-1 仮払金（前渡金）の内訳書

・期末現在高 明細 11桁 合計 12桁 → 明細 12桁 合計 12桁

④-2 貸付金及び受取利息の内訳書

・期末現在高 明細 11桁 合計 12桁 → 明細 12桁 合計 12桁

・期中増受取利息額 明細 9桁 合計 10桁 → 明細 10桁 合計 10桁

⑤棚卸資産（商品又は製品、半製品、仕掛品、原材料、貯蔵品）の内訳書

・期末現在高 明細 12桁 合計 13桁 → 明細 13桁 合計 13桁

⑥有価証券の内訳書

・期末現在高 明細 11桁 合計 12桁 → 明細 12桁 合計 12桁

・期中増（減）の明細 明細 11桁 合計 12桁 → 明細 12桁 合計 12桁

⑦固定資産（土地、土地の上に存する権利および建物に限る。）の内訳書

・期末現在高 明細 12桁 合計 13桁 → 明細 13桁 合計 13桁

・面積 整数 6桁 小数 2桁 → 整数 8桁 小数 2桁

・取得（処分）価格 明細 11桁 合計 12桁 → 明細 12桁 合計 12桁

・異動直前の帳簿価格 明細 11桁 合計 12桁 → 明細 12桁 合計 12桁

⑧支払手形の内訳書

・金額 明細 11桁 合計 12桁 → 明細 13桁 合計 13桁

⑨買掛金（未払金・未払費用）の内訳書

・期末現在高 明細 11桁 合計 12桁 → 明細 13桁 合計 13桁

⑩-1 仮受金（前受金・預り金）の内訳書

・期末現在高 明細 11桁 合計 12桁 → 明細 12桁 合計 12桁

⑩-2 源泉所得税預り金の内訳

・期末現在高 明細 11桁 合計 12桁 → 明細 13桁 合計 13桁

⑪借入金及び支払利子の内訳書

・期末現在高 明細 11桁 合計 12桁 → 明細 12桁 合計 12桁

・期中の支払利子額 明細 9桁 合計 10桁 → 明細 10桁 合計 10桁

⑫土地の売上高等の内訳書			
・総面積	整数 6 桁 小数 2 桁	→	整数 8 桁 小数 2 桁
・売上（仲介）面積	整数 6 桁 小数 2 桁	→	整数 8 桁 小数 2 桁
・売上金額	明細 11 桁 合計 12 桁	→	明細 13 桁 合計 13 桁
・仲介手数料	明細 11 桁 合計 12 桁	→	明細 13 桁 合計 13 桁
⑬売上高等の事業所別内訳書			
・売上高	明細 11 桁 合計 12 桁	→	明細 12 桁 合計 12 桁
・期末棚卸高	明細 11 桁 合計 12 桁	→	明細 12 桁 合計 12 桁
⑭-2 人件費の内訳書			
・総額	明細 11 桁 合計 12 桁	→	明細 13 桁 合計 13 桁
・総額のうち代表者及びその家族分	明細 11 桁 合計 12 桁	→	明細 13 桁 合計 13 桁
⑮-1 地代家賃等の内訳書			
・支払賃貸料	明細 11 桁 合計 12 桁	→	明細 12 桁 合計 12 桁
⑮-2 権利金等の期中支払の内訳書			
・支払金額	明細 11 桁 合計 12 桁	→	明細 12 桁 合計 12 桁
⑮-3 工業所有権等の使用料の内訳書			
・支払金額	明細 11 桁 合計 12 桁	→	明細 12 桁 合計 12 桁
⑯-1 雑益、雑損失等の内訳書			
・金額	明細 11 桁 合計 12 桁	→	明細 12 桁 合計 12 桁
⑯-2 雑損失等の内訳書			
・金額	明細 11 桁 合計 12 桁	→	明細 12 桁 合計 12 桁
⑰その他科目の内訳書①-1～20			
・期末現在高	明細 11 桁 合計 12 桁	→	明細 13 桁 合計 13 桁
⑱その他科目の内訳書①-1～20			
・期末現在高	明細 11 桁 合計 12 桁	→	明細 13 桁 合計 13 桁



- ・「②受取手形の内訳書」「⑩借入金及び支払利子の内訳書」では、画面上の一括金額行に科目が表示されていても、印刷設定の「科目行を出力する」がチェック OFF の場合は、出力に反映しません。  
印刷設定の「科目行を出力する」がチェック ON で、一括金額行の科目を変更していない（直前のデータと同じ）ときは従来通りの出力です。

振 出 人	振出年月日	支 払 期 日	支 払 銀 行		金 額 円	割引銀行名 及び支店名等	摘 要
			名 称	支 店 名			
受 取 手 形							
	令 2. 1. 1	令 2. 10. 10	あいうえお 銀行	大阪支店	100,000		
その他 2件					11,000		
【小計(受取手形)】					111,000		

一括金額行の科目を変更している時は、選択された名称で科目行が出力されます。

振 出 人	振出年月日	支 払 期 日	支 払 銀 行		金 額 円	割引銀行名 及び支店名等	摘 要
			名 称	支 店 名			
受 取 手 形							
	令 2. 1. 1	令 2. 10. 10	あいうえお 銀行	大阪支店	100,000		
割 引 手 形							
その他 2件					11,000		
【小計(受取手形)】					111,000		

- ⑤「⑮-2 権利金等の期中支払の内訳書」「⑮-3 工業所有権等の使用料の内訳書」出力形式：通常の画面にて、1行ごとの縦幅を広げ、元号コンボボックスが全て表示できるように対応しました。  
「⑨買掛金（未払金・未払費用）の内訳書」の欄外登録の画面に対しても同様に対応しています。

#### ⑮-2 権利金等の期中支払の内訳書

権利金等の期中支払の内訳書					前様式	次様式	⑮-2
支払先の名称(氏名)	支払先の所在地(住所)	支払年月日	支払金額	権利金等の内容	摘 要		
あいうえお株式会社	札幌市中央区	令和02.01.01	100,000				
		選択なし 令和 平成 昭和 大正 明治					
計			100,000				

#### ⑮-3 工業所有権等の使用料の内訳書

工業所有権等の使用料の内訳書						前様式	次様式	⑮-3
名 称	支払先の名称(氏名)		契約期間	使 用 料 等		摘 要		
	支払先の所在地(住所)			支払対象期間	支払金額			
特許権	あいうえお株式会社	札幌市中央区	令和02.01 ~ 令和04.12	令和02.01 ~ 令和04.12	100,000			
			選択なし 令和 平成 昭和 大正 明治	~				
計					100,000			

⑨買掛金（未払金・未払費用）の内訳書：欄外登録

未払配当金	支払確定年月日	期末現在高	未払役員賞与	支払確定年月日	期末現在高
	選択なし			100,000	令和02.01.01
	令和 平成 昭和 大正 明治	100,000		令和02.01.01	100,000

●元号コンボボックスについて

入力画面上、表の外側には表示できないため、下方向に伸ばして欄外にあふれる場合は、上方向に伸ばして表示するようにしています。

上記に伴いデータ行の縦幅が狭い画面では、コンボボックスが開いたときにどの行の選択か分かりにくいケースが生じたため、今回の対応から年月日入力の入力方法を以下の通りに変更しました。

- (1)キーボード或いはマウスから年月日項目にカーソルがセットされたとき、自動で元号ボックスを表示していたのを止め、年月日欄にカーソルがセットされるようにしました。
- (2)左右矢印キーを押下した時は前項目/次項目へ移動します。
- (3)既存データの場合、元号が変更されていなければ入力された日付は保持します。
- (4)年月日欄にカーソルがあるとき、以下の操作で既存データの日付をクリアします。
  - ・ Delete キーを押下した場合
  - ・異なる元号が選択されて日付が再入力された場合
  - ・元号名称上をマウスクリックした場合
- (5)新規データの場合、元号の初期値はシステムデートから自動判断して表示します。

◆対象となる項目は以下の通りです。

- ②受取手形の内訳書
  - ・ 振出年月日
  - ・ 支払期日
- ⑥有価証券の内訳書
  - ・ 異動年月日
- ⑦固定資産（土地、土地の上に存する権利及び建物に限る。）の内訳書
  - ・ 異動年月日
  - ・ 売却物件の取得年月
- ⑧支払手形の内訳書
  - ・ 異動年月日
  - ・ 支払期日
- ⑨買掛金（未払金・未払費用）の内訳書
  - ・ [欄外登録] 支払確定年月日
- ⑩-2 源泉所得税預り金の内訳
  - ・ 支払年月
- ⑫土地の売上高の内訳書
  - ・ 売上（仲介）年月日
- ⑮-1 地代家賃等の内訳書
  - ・ 支払対象期間
- ⑮-2 権利金等の期中支払の内訳書
  - ・ 支払年月日

### ⑮-3 工業所有権等の使用料の内訳書

- ・ 契約期間
- ・ 支払対象期間

- ⑥データインポート処理で、CSV ファイルを開いた状態でもインポートができるように対応しました。
- ・ 様式選択ダイアログ表示前に CSV ファイルを開いていると、様式選択の一覧に開いている CSV の様式が表示されない。
- また、様式選択ダイアログ表示中又はそれ以降に CSV ファイルを開くと、インポート中に「IcsUcXXX.CSV'(○○○の内訳書)を開けませんでした。」と表示されて取り込みできなかったのを、インポート処理で CSV ファイルを開いている状態でも取り込めるように対応しました。

## 修正

### I. 登録・入力

#### 1) 仕訳入力

- ①科目設定で課税区分：不課税、科目属性：固定資産に設定されている科目（建設仮勘定など）を貸方にした不課税仕訳を、内税に変更し、仕訳区分を「譲渡」から「取得（相殺）」に変更すると、不課税に戻っていたので、不課税に戻らないように修正しました。

#### 2) 元帳検索

- ①一括税抜き：総額方式マスターにおいて、固定資産売却益の課税仕訳（内税）がある場合に、仮受消費税の元帳で「一括税抜き仕訳の内訳」の金額と、「翌期への繰り越しの合計」の金額に誤差が出る場合があったので、下記のように計算を変更しました。

##### ● 計算方法の詳細

- A：対価の金額
- B：固定資産売却益の金額

- ・ 合計金額の計算  
(A+B) の消費税額

- ・ 内訳の計算（従前の場合）  
A の消費税額 + B の消費税額



左記計算方法により消費税額の端数計算で誤差が生じていたため、内訳の計算を合計金額の計算と同様に「(A+B) の消費税額」に変更しました。

##### ● 計算方法の変更により、金額に影響を受ける業務

- ・ 元帳検索
- ・ 残高問い合わせ（日指定時）
- ・ 科目日計（集計）表（日指定時）
- ・ 伝票発行
- ・ 総勘定元帳

※該当マスターは、当プログラムにより「マスター修復」を行ってください。

- ②仕訳修正タブを表示した状態で元帳検索を最小化し、仕訳入力で仕訳を追加後、タスクバーより元帳検索を開き、検索指定タブに戻ると、科目指定部分が消えていたのを修正しました。
- ③仕訳修正タブの貸借修正ダイアログにおいて、付箋のコメントに半角「%」があった場合、コメント入力欄を開くたびに、半角「%」の数が半分になっていたのを修正しました。
- ④諸口枝番名称を変更した場合にも、元帳検索では初期値の名称を表示していたため、変更後の諸口枝番名称を表示するように修正しました。



- ⑤確定仕訳時・仕訳移動時など仕訳に色が付く場合、998番目以降の仕訳の「差引残高」欄が全て白色で表示されていたので、「差引残高」欄に色が表示されるように修正しました。
- ⑥マルチウィンドウ有効時に、元帳検索にて「相手科目の科目コード：表示する」に設定していた場合、科目コードの表示が欠けていたのを修正しました。
- ⑦解像度 1920×1080（125%推奨）のノート PC 等で、文字が枠からはみ出したり、つぶれていたのを修正しました。
- ⑧科目設定で課税区分：不課税、科目属性：固定資産に設定されている科目（建設仮勘定など）を貸方にした不課税仕訳を、内税に変更し、仕訳区分を「譲渡」から「取得（相殺）」に変更すると、不課税に戻っていたので、不課税に戻らないように修正しました。

### 3) 残高問い合わせ

- ①枝番別比較残高一覧表において、前期に枝番残高の発生があり、前期残が0の枝番がある場合に、1ページ目の最終行が2ページ目にも表示されていたのを修正しました。

- ②比較残高タブで下記設定の場合に、前期、当期ともに発生の無い枝番があると、元帳への参照元がずれていたのを修正しました。

《設定》

- ・前期比較方法：発生比較
- ・残高・発生の無い枝番を出力する：OFF
- ・残高一覧で合計科目を出力する：ON

※上記条件の「残高一覧で合計科目を出力する：OFF」の場合、期首残高があり、前期、当期ともに発生の無い枝番が表示されていたのを修正しました。

### 4) 科目別日別残高表

- ①年間日別集計表で累計を選択した場合、画面表示では仕訳の発生があった日と残高がある日に金額が表示されているが、印刷又はプレビューを選択すると仕訳が発生した日しか残高が表示されず、仕訳が発生していない日には0と表示されていたため、累計選択時、残高がある日は、仕訳の発生が無くとも累計金額を表示するように修正しました。

また、月に関わらず31日まで残高が出力されていたのを、2月28日まで、4月は30日までと各月に応じて出力する日数を変更しました。

※画面表示は従来通りの表示となっています。

《例》

- ・1～2月、4～5月に毎日「現金／売上 10000」の仕訳を入力し、5月まで出力した場合

日付	2年5月度	2年4月度	2年3月度	2年2月度	2年1月度
1日	910,000	610,000	600,000	320,000	10,000
2日	920,000	620,000	600,000	330,000	20,000
3日	930,000	630,000	600,000	340,000	30,000
4日	940,000	640,000	600,000	350,000	40,000
5日	950,000	650,000	600,000	360,000	50,000
6日	960,000	660,000	600,000	370,000	60,000
7日	970,000	670,000	600,000	380,000	70,000
8日	980,000	680,000	600,000	390,000	80,000
9日	990,000	690,000	600,000	400,000	90,000
10日	1,000,000	700,000	600,000	410,000	100,000
11日	1,010,000	710,000	600,000	420,000	110,000
12日	1,020,000	720,000	600,000	430,000	120,000
13日	1,030,000	730,000	600,000	440,000	130,000
14日	1,040,000	740,000	600,000	450,000	140,000
15日	1,050,000	750,000	600,000	460,000	150,000
16日	1,060,000	760,000	600,000	470,000	160,000
17日	1,070,000	770,000	600,000	480,000	170,000
18日	1,080,000	780,000	600,000	490,000	180,000
19日	1,090,000	790,000	600,000	500,000	190,000
20日	1,100,000	800,000	600,000	510,000	200,000
21日	1,110,000	810,000	600,000	520,000	210,000
22日	1,120,000	820,000	600,000	530,000	220,000
23日	1,130,000	830,000	600,000	540,000	230,000
24日	1,140,000	840,000	600,000	550,000	240,000
25日	1,150,000	850,000	600,000	560,000	250,000
26日	1,160,000	860,000	600,000	570,000	260,000
27日	1,170,000	870,000	600,000	580,000	270,000
28日	1,180,000	880,000	600,000	590,000	280,000
29日	1,190,000	890,000	600,000	600,000	290,000
30日	1,200,000	900,000	600,000		300,000
31日	1,210,000		600,000		310,000

仕訳の発生がない3月にも残高を表示しています。  
また、2月30日等は空欄で表示しています。

## 5) 科目設定・残高登録

- ①残高登録の枝番残高登録タブで、Enter でカーソルを送ると、入力内容に間違いが無くても警告音が鳴っていたのを修正しました。

## II. 出力

---

### 1) 全般

- ①部門入力が『行う』、通常配賦が『行う』、経理方式の既定が『税込』になっているマスターで、既定外の経理方式を選択して、試算表・分析表などの業務で出力を行おうとすると「配賦集計 通常配賦初期化中に障害が発生しました。通常配賦 総合計金額の集計中に障害が発生しました。」と表示されて出力できない不具合を修正しました。

## III. 決算

---

### 1) 勘定科目内訳書

- ①「⑩-2 源泉所得税預り金の内訳」の左側 1 行目の支払年月がクリアされるのを修正しました。  
※前述の元号コンボボックスの改良とともに修正しています。

以上